



総会後、写真に納まる会員
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

完成検査等に適切対応

県建築士会曾於支部総会

鹿児島県建築士会曾於支部総会



一致団結して乗り切ろうと誓った総会
＝大隅町の道の駅で

県建築士会曾於支部(永吉正支部長)は4日、曾於郡大隅町にある道の駅(弥五郎伝説の里・ふれあい館)で第35回通常総会を開き、親睦交流会、建築士の日事業など各イベントを盛り込んだ15年度事業計画等を執行部原案通り可決承認した。

総会の前に、内村一也大隅土木事務所建築課長が7月からの建築基準法改正でのシックハウスについて等の講習を行った後、川床光昭理事(カワトコ設計事務所)の開会宣言で総会が始まり、永吉支部長が一長引く不況で影響が出てきています。そのなかで検査率アップ(完成検査)など一段と厳しくなりますが泣き言だけでは進んでいきません」と挨拶。議長に、坂口正継氏(南坂口建設)を選出して議題を審議した。

議事では14年度事業報告及び収支決算承認、15年度予算案と事業計画案を執行部原案通り承認した。また、青年女性部事業活動を新任の村岡博文青年女性部長(株)村岡工務店が報告した。

総会後、同町の(株)川原田工務店で懇親会を開き、会員それぞれに意見交換を行い親睦を深めた。

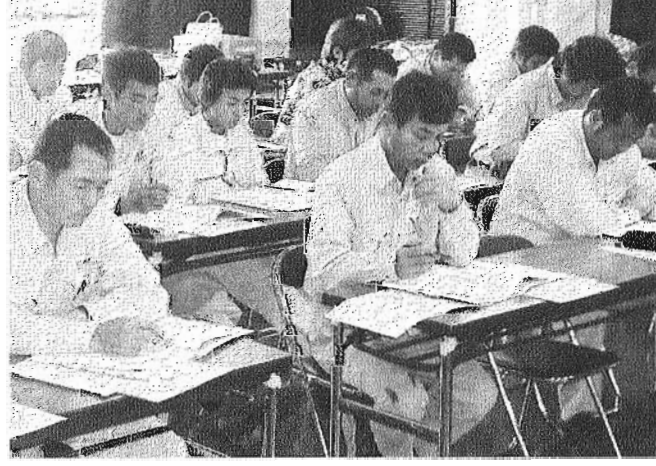
県ワイヤーソー工法協会総会

初代会長に笹木氏

県ワイヤーソー工法協会は5日、鹿児島市の城山観光ホテルで第1回通常総会を開き、ワイヤーソー工法の普及促進や発注機関等への陳情活動などを盛り込んだ事業計画を決めたほか、先月の同協会設立準備会において、初代会長に笹木武治氏(中央ロード工業(株)社長)を選出、会員全員の承認を得た。

総会では、笹木会長が、10年以上が経ちますが、鹿児島ではまだまだ認知度の低い工法です。そこで我々専門業者が発注機関等への積極的な営業活動を行い、また、我々自身の技術力の向上、情報交換を目的としてこの協会を設立しました。建設業界にとっては大変厳しい時代ではありますが、環境面、騒音問題などから今後広まってくる可能性は十分あります。当協会では、建設現場と安全衛生管理者とを分けて、教育研修を実施していたものを、近年の建設従事者の技術・技能向上に併せて、マニュアルの多様化などで、職長が安全衛生管理責任者を兼ねる場合が多いことを受けて、職長と安全衛生管理責任者の教育研修を同時に開催することで、建設現場における労働災害の防止を図る目的で14年度から開催。

今回は、五洋建設(株)南九州支店の関秀正安全環境部長を講師に招いて、①職長・安全衛生責任者の役割②統括安全衛生管理の進め方③安全施工サイクルと現場KY④異常時、災害発生時における防止対策⑤ヒューマンエラーの説明、参加者は講師の説明に耳を傾けていた。



熱心に講義を受ける参加者
＝加世田市の南薩建設業会館で

職長・安全衛生責任者 研修
現地KYなど再確認
建設業協会 加世田支部

県建設業協会加世田支部(上東信義支部長)は5日、加世田市の南薩建設業会館で、15年度職長・安全衛生責任者教育研修を行い、参加した約30人の職長・安全管理者は、講師の説明に耳を傾けながら熱心に聴講していた。研修はきょう6日まで。

この研修は、県建設業協会と建設業労働災害防止協会県支部が共催して、各事業所に従事する職長と安全衛生管理者とを分けて、教育研修を実施していたものを、近年の建設従事者の技術・技能向上に併せて、マニュアルの多様化などで、職長が安全衛生管理責任者を兼ねる場合が多いことを受けて、職長と安全衛生管理責任者の教育研修を同時に開催することで、建設現場における労働災害の防止を図る目的で14年度から開催。

種子島トンネル等を清掃

種子島建設協同組合青年部(部長・松島恒利)は3日、松島建設社長)は3日、青年部会員23人が参加して、西之表市岳之田地内の種子島トンネル内清掃やその周辺の草刈りなどの奉仕活動を実施した。

同活動は、同青年部の年間活動の一環として毎年実施しており、今回は断を用途とする。

15年度事業計画は、ワイヤーソーの普及に努め、この業界が発展していくことを願っています」と挨拶。

続いて、笹木会長を議長に議事に入り、会則、役員承認、15年度事業計画・収支予算案などを慎重審議し、全会一致で可決承認した。また、笹木氏を初代会長に決定した。

同工法は、鉄筋コンクリート構造物やダムなど大型コンクリート構造物、橋梁・擁壁、水中構造物、煙突など高層物、耐震性ゴムなどの取り付けに伴うビル支柱、病院・ホテルなど騒音、粉塵、振動に

種子島建設協同組合青年部 専任 作業

一昨年の集中豪雨災害により、同トンネルの内壁などに泥等が蓄積し、車が通行する度にほこりが舞い上がっていたことから、通行人が安全に利用できるよう清掃した。

当日は、青年部会員23人が現地に集合し、4、5人ずつに分かれ、トンネル内の清掃やその周辺の草刈り、ごみ拾いなどを実施。トンネル内には人が現地に集合し、4、5人ずつに分かれ、トンネル内の清掃やその周辺の草刈り、ごみ拾いなどを実施。トンネル内には人が現地に集合し、4、5人ずつに分かれ、トンネル内の清掃やその周辺の草刈り、ごみ拾いなどを実施。

喜入中学生の職場体験学習

目標持つ大切さ学ぶ

中金一級建築設計事務所(中金秀志代表)は4日、恒例の職場体験学習を実施。喜入町立喜入中学校の3年生の生徒4人を迎え入れ、この体験学習は、翌年に受験を迎える3年生に、将来に夢を持ち、その実現に向けて取り組んでもらおうと、町立喜入中学校(吉之島隆良校長)が、町内の福祉施設、スーパー、小売店など、町内の事業所へ1日体験をさせているもので、今回も町内在住の中金代表の息子、横峯辰生くん、吉村翔くん、折笠良輔くん、樋高賢志くんが体験学習に訪れた。

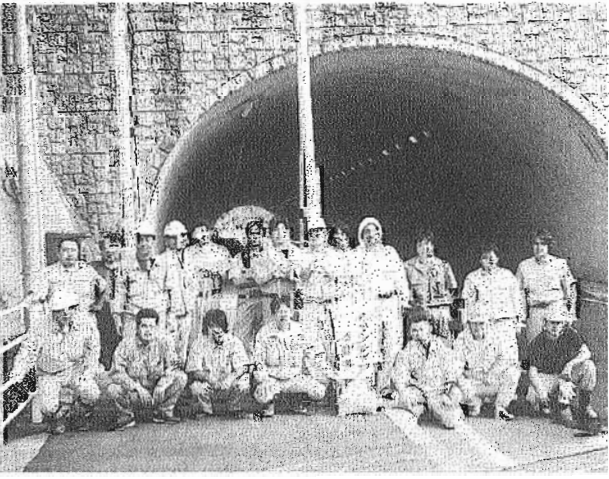
簡単な自己紹介の後、建築設計士の仕事の説明から、生きていくうえで人間関係の大切さ、働くことの意義などについて、中金氏自身が体験して学んだことをもとに指導。その後、同町中名の住宅建設現場へと出向いて現場を視察。生徒らは初めて見る建設現場の様子に、戸惑いの表情を見せながら興味深そうに話を聞いていた。

中金一級建築設計事務所(中金秀志代表)は4日、恒例の職場体験学習を実施。喜入町立喜入中学校の3年生の生徒4人を迎え入れ、この体験学習は、翌年に受験を迎える3年生に、将来に夢を持ち、その実現に向けて取り組んでもらおうと、町立喜入中学校(吉之島隆良校長)が、町内の福祉施設、スーパー、小売店など、町内の事業所へ1日体験をさせているもので、今回も町内在住の中金代表の息子、横峯辰生くん、吉村翔くん、折笠良輔くん、樋高賢志くんが体験学習に訪れた。

簡単な自己紹介の後、建築設計士の仕事の説明から、生きていくうえで人間関係の大切さ、働くことの意義などについて、中金氏自身が体験して学んだことをもとに指導。その後、同町中名の住宅建設現場へと出向いて現場を視察。生徒らは初めて見る建設現場の様子に、戸惑いの表情を見せながら興味深そうに話を聞いていた。

午後からは、同事務所へ戻って各自の部屋を描いたものを参考に、CADを使った図面作成を行い、生徒らは初めて扱うCADにて、講師の指導のもと、1日体験学習の修了証書が手渡された。

参加した樋高くんは「現場見学では、建物の構造がこんなに複雑だとは思いませんでした」と現場体験の様子を語り、今日まで児童らを7年にわたり迎えて入れている中金氏は「子供達が、この体験学習を通じて感じたことを、将来の夢の実現へどのように結び付けていけるかが重要。今後、子供達に目標を持つことの大切さを体験学習を通じて伝えていきたい」と話した。



作業を前に写真に納まる参加者
＝西之表市の種子島トンネルで

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ